

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大東小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	都島区
学 校 名	大阪市立大東小学校
学 校 長 名	地丸 大介

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立大東小学校では、第6学年 55名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大東小学校の結果概要

国語の平均正答率は全国平均より1.9ポイント、算数では1.0ポイント下回った。大阪市教育振興基本計画で掲げられている区分Ⅳの割合は、国語では全国平均より高く課題が見られたが、算数では全国平均より低く基礎的・基本的な内容の定着が進んでいる。また、平均無回答率においても国語・算数ともに全国平均・大阪市より低い結果となり、難しい問題に対しても粘り強く取り組む態度が育っている。児童質問調査では、自己肯定感が高く将来の夢や目標などをもっている割合が高い結果となった。また、地域社会へ貢献したいと思っている児童の割合が高く、地域との関わりを大切にしている児童が多くいることがわかった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】 書き表し方を工夫することや文章を読んで理解したことに基づいて考えをまとめるなどの「書くこと」「読むこと」の正答率が高かった。一方で、漢字を正しく使う問題や比喻・反復などの表現に関する問題の正答率が低く課題が見られた。問題形式別に見ると、記述式の正答率が全国平均より6.0ポイント高く、選択式・短答式の正答率は全国平均より4.9ポイント低かった。

【算数】 「図形」や「測定」の領域では、全国平均・大阪平均より正答率が高く、「数と計算」の領域では、全国平均・大阪市平均より正答率が低かった。特に、異分母の大小を判断しその理由を数や言葉を用いて説明するなどの記述式の正答率が高かった。一方で、基準量・比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶなどの選択式の正答率が低かった。

国語・算数ともに、「思考・判断・表現」の内容の正答率が高かった。これは、昨年度より、教科担任制を行っていることや大学教授等の外部講師を招聘した主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善の取組を進めていることから、授業において「考え、判断し、表現する」機会が増えたことによる成果といえる。

質問調査より

学校での悩みを親や家族に相談している割合や地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている割合が高く、家庭や地域のサポートが高いことがわかった。また、自分にはよいところがあると回答した割合は全国平均より15.7ポイント高く、令和6年度から進めているポジティブ行動支援の取組の成果が見られた。また、将来の夢や目標を持っていますかという質問に対して最肯定的な回答を示した割合は、全国平均より19.4ポイント高く、夢授業などを活用した出前授業の成果があった。一方で、朝食を毎日食べているかという質問に対して肯定的に回答する児童の割合が全国平均より6.8ポイント低く課題が見られた。

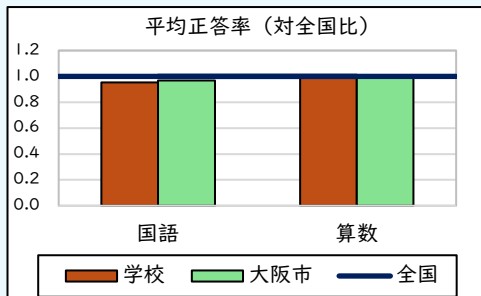
今後の取組（アクションプラン）

今後は、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を継続して行いながら、課題の見られた基礎的・基本的な学習内容の習得を図るよう朝・昼のチャレンジタイムや授業時間を利用して反復学習の取組を進める。また、地域と連携した教育活動や、外部講師を招聘した授業を継続して行うことで、地域社会への愛着を育み将来への夢や目標を持てる児童の育成を図る。加えて、元気アップ週間や委員会活動などを活用して、食育の取組を推進し朝食の喫食率の改善を図る。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

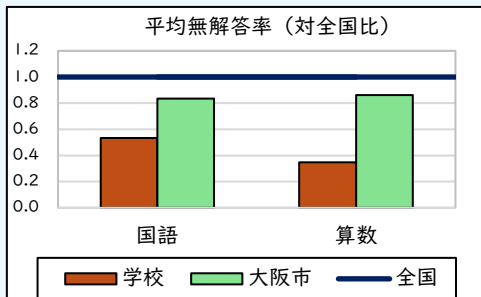
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	58	56
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



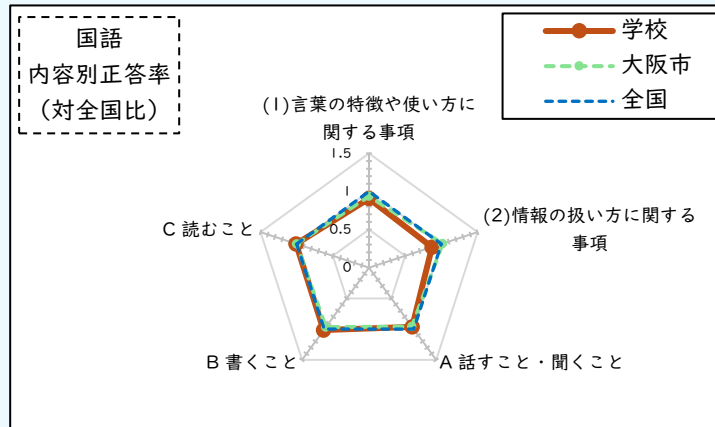
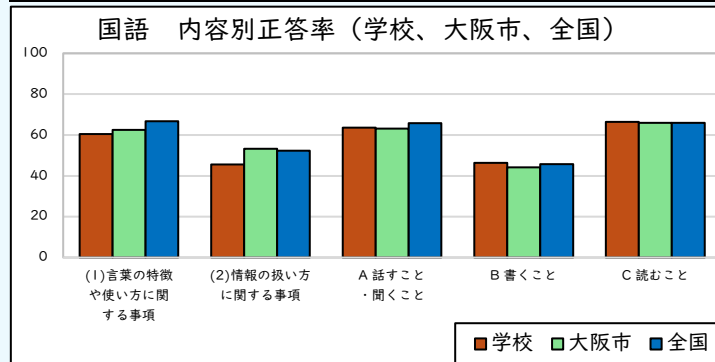
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.8	1.1
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



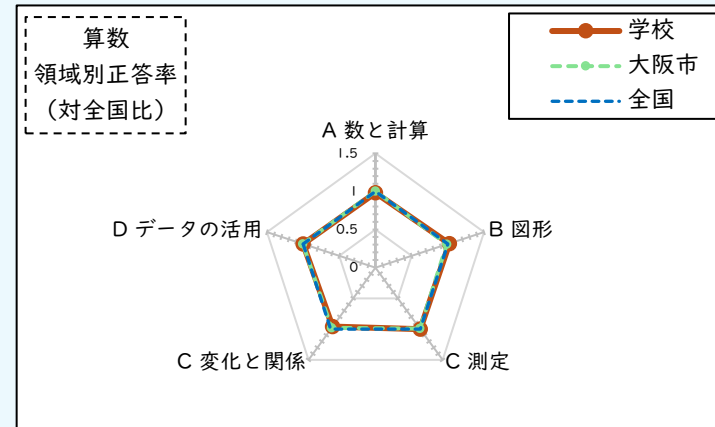
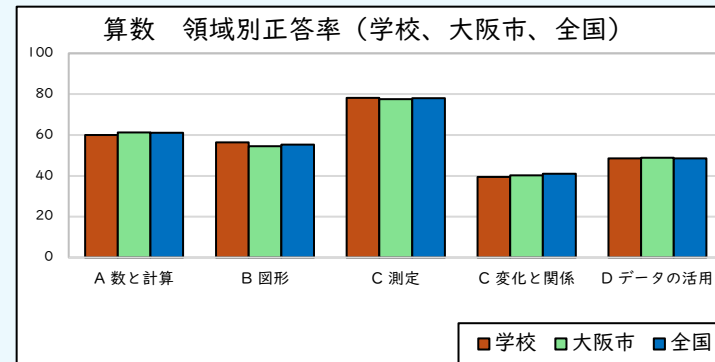
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	60.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	45.5	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	63.6	63.1	65.8
B 書くこと	2	46.4	44.2	45.7
C 読むこと	2	66.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の 領域	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.0	61.2	61.1
B 図形	4	56.4	54.5	55.3
C 測定	1	78.2	77.5	78.1
C 変化と関係	3	39.4	40.3	41.1
D データの活用	4	48.6	48.8	48.6



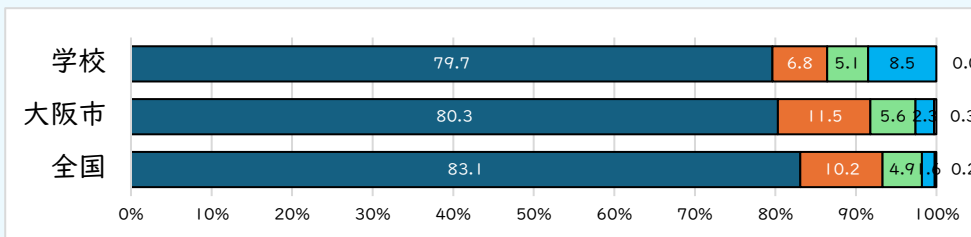
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

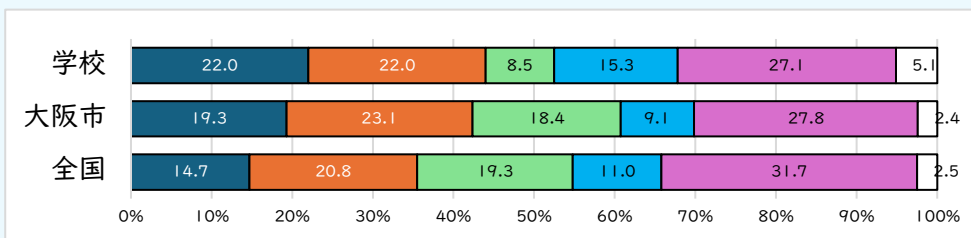
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(1)	朝食を毎日食べていますか
-----	--------------



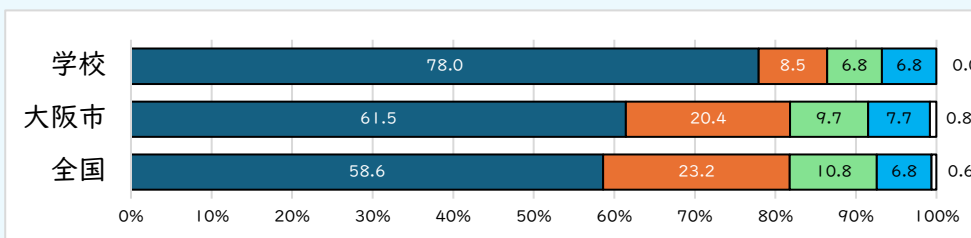
- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(7)	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
-----	-------------------------------------



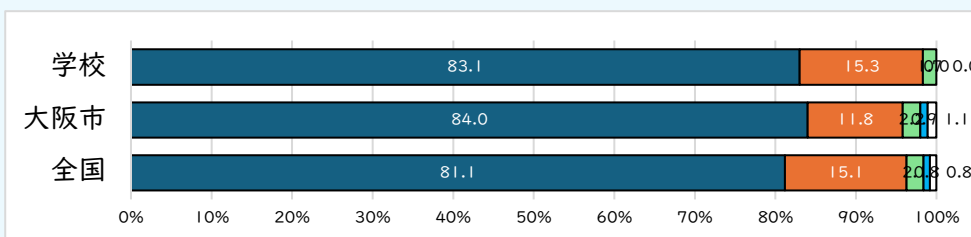
- 1 ほぼ毎日
- 2 週に1~2回
- 3 月に1~2回
- 4 年に1~2回
- 5 ほとんど、または、全くない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



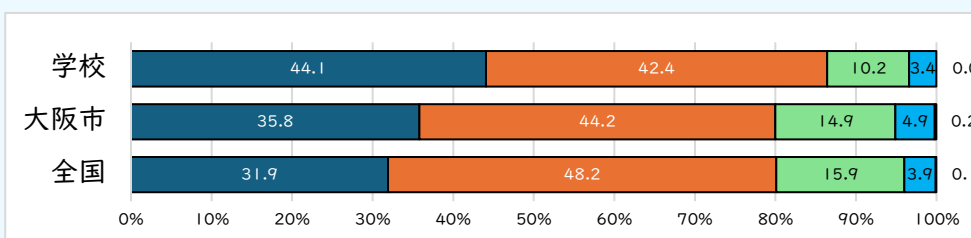
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
------	----------------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

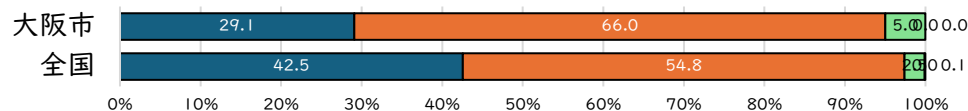
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(17)

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 1 よくしている

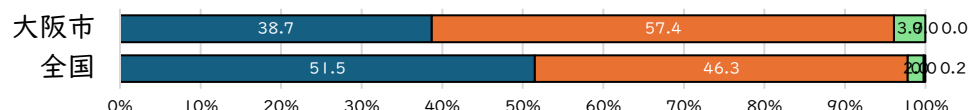


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(18)

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

【学校の回答】 1 よくしている

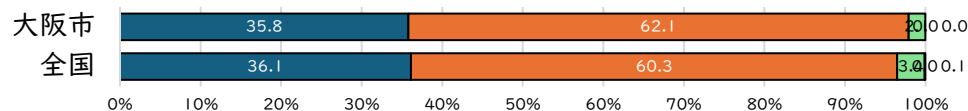


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(45)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

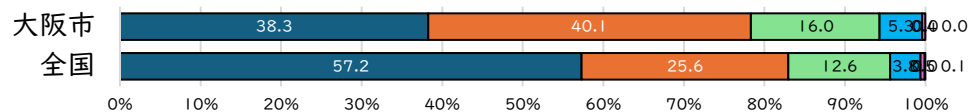


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）

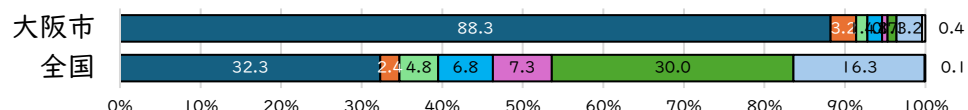


1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満

(70-5)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。
(5) 児童の心身の状況の把握

【学校の回答】 1 ほぼ毎日



1 ほぼ毎日
2 週3回以上
3 週1回以上
4 月1回以上
5 月1回未満
6 活用していない
7 該当する児童がいない